

表6 平成2年度埋蔵文化財調査計画

事業名	事業内容	調査予定月	市町村	事業面積	調査予定遺跡
①母畑地区遺跡発掘調査	国営総合農地開発事業母畑地区の開発に伴い破壊される遺跡の記録保存を行う。	4月～11月	玉川村ほか	8,400㎡	松ヶ作C・辰巳城遺跡ほか
②矢吹地区遺跡発掘調査	国営総合農地開発事業矢吹地区の開発に伴い破壊される遺跡の記録保存を行う。	4月～11月	天栄村ほか	12,660㎡	前原A・B遺跡ほか
③会津農業水利遺跡発掘調査	国営灌漑水利事業の用水路建設予定地内の遺跡について記録保存を行う。	4月～11月	会津高田町 会津若松市	5,840㎡	鹿島遺跡・神指城跡ほか
④戸川農業水利遺跡発掘調査	県営請戸川農業水利事業にかかる遺跡について記録保存を行う。	4月～11月	小高町	2,460㎡	大富西畑・四ツ栗遺跡
⑤原町火力発電所遺跡発掘調査	原町火力発電所建設予定地内の遺跡の記録保存を行う。	4月～11月	鹿島町市	40,380㎡	長瀬遺跡ほか
⑥相馬地域開発遺跡発掘調査	相馬地域開発予定地の中核工業団地内の遺跡の記録保存を行う。	4月～11月	相馬市	23,580㎡	段ノ原B遺跡
⑦東北横断道(9・10次)遺跡発掘調査	東北横断道建設予定地内の遺跡の記録保存を行う。(9・10次工区)	4月～11月	西会津町～三春町	49,450㎡	塩喰遺跡 屋敷遺跡ほか
⑧三春ダム関連遺跡発掘調査	三春ダム建設に関連する遺跡の記録保存調査を行う。	4月～11月	三春町	6,000㎡	仲平・柴原A遺跡
⑨福島空港道路遺跡発掘調査	福島空港関連の道路にかかる遺跡の記録保存調査を行う。	4月～7月	須賀川市	600㎡	下竹の内遺跡
⑩福島空港公園遺跡分布調査	福島空港公園にかかる遺跡の確認調査を行う。	4月～5月	玉川村	10,000㎡	観音山遺跡
⑪母畑地区遺跡分布調査	国営総合農地開発事業母畑地区内に所在する埋蔵文化財の確認調査を行う。	9月～11月	玉川村ほか	70,000㎡	辰巳城遺跡
⑫矢吹地区遺跡分布調査	国営総合農地開発事業矢吹地区内に所在する埋蔵文化財の確認調査を行う。	9月～11月	天栄村ほか	3,000㎡	前原A・B遺跡
⑬相及地区遺跡分布調査	大柵ダム関連灌漑排水路にかかる遺跡の確認調査を行う。	9月～12月	小高町	30,000㎡	板木沢遺跡
⑭東北横断道(10次)遺跡分布調査	東北横断道建設予定地内(10次工区)の遺跡確認調査を行う。	4月～11月	郡山市～小野町	45,000㎡	堀ノ内遺跡ほか
⑮三春ダム遺跡分布調査	三春ダム建設に関連する遺跡の確認調査を行う。	4月～11月	三春町	127,000㎡	四合内B・越田和遺跡ほか
⑯原町火力発電所遺跡分布調査	原町火力発電所建設予定地内の遺跡の確認調査を行う。	(10月～12月)	原町市	50,000㎡	大船迫A遺跡ほか

集管理及びその利用を図る歴史資料館より構成されており、昭和四十五年の開館以来、県民文化の振興のため各種の事業活動を強力に推進してきている。特に近年、県民一般の心のゆとりなどから芸術文化への関心が高まりつつあることに鑑み、より利用し易い文化会館、歴史資料館であることに配慮し、

県民一般の広い活用を努めているところである。なお、県文化センターは、県内二十余の文化施設の中核的役割を担うことにも留意し、県内一般はもちろん、少年、幼児等を対象とした少年劇場、家庭劇場の巡回公演の実施など自主文化事業の充実強化に格別努力を払って

いるところであり、今年度事業は二十三ページの表5のとおりである。

また、県文化センターでは昭和五十二年以来、県教育委員会の委託を受け県内各地の大規模地域開発プロジェクト事業の実施や道路整備、あるいは大規模農用地造成事業などの実施に伴って破壊されるおそれのある埋蔵文化財(遺跡)の記録保存のため、分布調査や発掘調査を鋭意継続実施中であるが、今年度の調査事業箇所及び調査面積は表6のとおりであり、県文化センターにとつて大きな事業分野の一つとなっている。なお、昭和五十二年からの発掘調査の成果を県民一般に報告し、県内埋蔵文化財への理解を深めていただくため、本年七月二十日より八月三十一日まで県文化センター歴史資料館において、縄文人のくらし展を開催した。

十三、福島県立美術館

昭和五十九年七月に開館した福島県立美術館は、県民に親しまれる文化施設として着実な歩みを示している。

平成二年度の美術館事業概要は次のとおりである。

1、企画展

(1) 「ワイエス展―ヘルガ」

アメリカ写実絵画の巨匠アンドリュー・ワイエスが一人の女性ヘルガをモデルに描いた連作ヘルガ・シリーズの中から主要作品百二十六点を展示した。

(2) 「ヒトのかたち・美のかたち展」

人間の表情や形態等を現代美術の様々な技法によって表現した絵画、彫刻、オブジェ等七十八点を展示し人体のおもしろさや美しさを紹介した。

(3) 「シャガール名作版画展」

二十世紀絵画の巨匠マルク・シャガールの初期から晩年にいたる様々な版画作品の中から、石版画、銅版画、木版画など代表作約百五十点を紹介した。

(4) 「北大路魯山人展」

昭和の光悦とも呼ばれる北大路魯山人の芸術を世田谷美術館所蔵・塩田コレクションの陶器、絵画、書等約百六十点によって紹介した。

(5) 「酒井三良展」

日本美術院同人として活躍し、独特の詩情あふれる田園風景を描いた福島県出身の日本画家・酒井三良の画業を代表作約百点により紹介した。

(6) 「ローマ発・大型銅板画への挑戦展」

ローマの版画工房で作成された大型銅板画をカルダー、ムーア、フォンタナ、マンズー等二十世紀の代表作家の作品によって紹介する。

(7) 「福島的美術家たち展」

福島県出身、在住、ゆかりの作家の制作状況を日本画、洋画、彫刻工芸、書の五分野約四十名の作家の作品約百二十点によって紹介する。

2、常設展